

会 議 録

会 議 名	令和4年度 山形市郷土館運営協議会
開催日時	令和4年7月12日（火）午前10時00分～11時06分
開催場所	山形市役所10階 1001会議室
出席者	委員8名 生島信行委員、貞弘光章委員、佐藤琴委員、佐藤美代子委員、志村直愛委員、竹原万雄委員、東海林栄子委員、山内励委員 事務局6名 畑口企画調整部長、三條次長(兼)文化振興課長、阿部計画推進総括主幹(兼)課長補佐、齋藤文化財保護係長、田辺主幹、石井郷土館会計年度任用職員
傍聴者	傍聴者0名 記者0名
議 題	報 告 (1) 令和3年度山形市郷土館事業報告について 協 議 (1) 令和4年度山形市郷土館事業計画(案)について
資 料	・令和3年度 山形市郷土館事業報告 ・令和4年度 山形市郷土館事業計画(案) 資料1 令和3年度山形市郷土館月別入館者数及び郷土館入館者数の推移 資料2 令和4年度山形市郷土館・郷土資料収蔵所 新収蔵品展チラシ

1 開会

2 企画調整部長あいさつ

3 会長あいさつ

(これより、山形市郷土館運営協議会条例第6条の規定により、山内会長が議長となる。)

4 報告

(1) 令和3年度山形市郷土館事業報告について

※事務局より、「資料 令和3年度山形市郷土館事業報告」に基づき、報告。

議 長 令和3年度の山形市郷土館事業報告についてご意見ありましたらお願いしたい。

- 議 長 報告では、前年度に比べると来館者数は戻ってきてはいるが、まだまだ全面回復には至っていない。
- 委 員 「3・4階特別公開」について、定員は20人程度の設定か。
- 事 務 局 定員20人で募集しています。
- 委 員 どのような想定で20人と設定したのか。
- 事 務 局 2階から3階へ上がる螺旋階段が、安全確保のため複数人で登ることが出来ないのので、1人ずつ登ってもらっているのでも時間がかかる。そのため、3人程度のグループで20分程度の時間をとって順番に案内している。時間配分を考えると20人程度の定員が混乱なく運営できると考えて設定した。
- 委 員 早々に定員が埋まったとのことだが、全体でどれくらいの参加希望者がいたのか把握しているか。
- 事 務 局 第1回目の開催で定員から漏れた方が第2回目に申し込んで参加した例などもある。定員が埋まってからも申込があったので、全体では40人から50人程度の申し込み希望があったと思われる。
- 委 員 あの特殊な空間は多くの人見てもらうのも大事だと思うので、工夫しながら参加人数を増やしていけると良いと思う。
- 委 員 郷土館は医学的資料の他にも歴史資料なども展示していて博物館的な要素も強い。近隣にある山形県立博物館でも郷土館を紹介するなど、連携はどのように行っているのか。
- 委 員 もっと連携をしなければと思っている。県立博物館は県全体をカバーしているので、山形市のものは最上義光や嶋遺跡など代表的なものを取り上げていく形になる。博物館のチラシを郷土館にも設置してもらったり、寄贈の申し出の情報を共有して一緒に調査研究した例もある。県でも教育資料館という文化財があるので、同じような文化財を管理していくという部分で、今後も情報共有して保存活用していくことが大事だと思っている。
- 議 長 博物館、郷土館、教育資料館など、調査を含め資料保存という意味で連携していく必要がある。
- 委 員 新収蔵品展に展示された秋元氏の大名行列絵巻を拝見した。だいぶ傷んだ状態から綺麗に修復して展示されていた。資料を収集して、修復して展示できる状態にして、公開していくことは博物館として重要なことで、きちんと活動されていると思う。県立博物館と共同して資料調査することなど盛んに行われているのはとても良いことだと思う。ただ、郷土館での展示が終わった後の公開や活用が見えないところがある。例えば大名行列絵巻であれば、最上義光歴史館と共同して展示や研究することなども、今後視野に入れていけば郷土館としての収集、調査研究の成果が発信されていくのではないかと。
- 事 務 局 新収蔵品展は、郷土館、郷土資料収蔵所に前年度に寄贈された資料を展示している。郷土館の新収蔵品展で展示した後は、郷土資料収蔵所に収蔵している。

常時公開ではないが、小学校の社会科見学などでよく見学されていて、そのような形で公開している。秋元氏の大名行列絵巻に関しては、最上義光歴史館と情報の共有は行っている。お互いの館で今後どのように展示していくかについては検討中である。自館での公開はもちろん、他の博物館とも連携して活用していきたいと考えている。

議 長 常設展示の更新に向けてということで、竹原委員のアドバイスを受けたとのことだが、医学史の専門としてどのようなアドバイスを行ったのか。

委 員 今年の2月、3月に改めて展示を見直し、文化振興課の職員や、郷土館で実際に運営に当たっている職員から話を聞いて、展示資料の更新に向けた改善点などを示した資料を作成した。さきほど説明のあった、常設展示の、山形市の医療関係資料の展示、歴史的資料展示、建物としての魅力の紹介の3つを、入館してすぐの導入としてしっかり展示したらよいのではないかという点が一つ。また、それぞれの展示室でコンセプトはあるのだが、情報が多すぎてそれが見えづらくなっていた。あらためて見ると貴重な資料が沢山あるのだが、資料を厳選して展示することで、各部屋のコンセプトをしっかりと提示して各部屋を分かりやすく見せたほうが良いのではないかということ。さらに、資料についているキャプションや、資料の下に敷いてあるものなどが古くなっているので、予算のあまりかからない範囲でリニューアルを考えたらどうかということ提言した。

議 長 どのようなスタンスで郷土館を運営していくのかについては、以前からこの協議会で議論があった。医療の分野に注力するのか、山形市の様々な分野を網羅する方が良いのか議論がなされてきた。山形市民から、この郷土館のあり方について意見が出たことはないのか。

事 務 局 入館者へのアンケートは行っている。入館者は県外の観光客が多く一概に山形市民の意見とは言えないが、重要文化財の貴重な建造物を見る事ができて良かったという声や、展示資料についてはコンセプトが分かりづらいというご意見はいただいたことはある。元病院であるということが分からないで来た方になると医学資料が多くて思っていたものと違ったという意見もあった。先ほど竹原委員からいただいたコンセプトを明確にするというアドバイスに従って取り組んでいく必要はあると考えている。

議 長 郷土館を文化行政の拠点としていくプランはあるのか。

事 務 局 新しい文化振興の考え方をまとめた条例を4月1日から施行している。ユネスコ創造都市の認定を受けたことをきっかけに、山形市の文化財をはじめ、文化芸術の素晴らしい地域資産を、国内外問わず多くの方に関わっていただき、新しい価値を作っていく、ひいてはそれを観光や産業などの町の活性化につなげていくという考え方で条例を制定し、その考え方に基づいて具体的に何を行うかという計画も策定している。その中で郷土館をはじめ、文化財は素晴らしい地域資産という位置づけをしている。保存をきちんと行いながら、山形市民からももう一度歴史、文化を理解していただく面も大事にしたい。観光客をはじめ多くの方から、山形市により興味を持っていただく取り組みを進めていきたい。

文化財に関しては、文化庁が全国の自治体に保存活用の計画策定を働きか

けている。山形市も趣旨に賛同してこれから3ヶ年でどのような在り方や利活用が良いのか検討して計画を策定していく。計画づくりの中でこの協議会の委員の方の意見も踏まえてより良い郷土館の利活用策を考えていきたい。

もう一点、議会にはすでに考え方を発表しているが、市役所と文翔館の間に郷土館を移設して、明治大正の頃の良き町並みを再現して、多くの方から楽しんでいただく構想もある。移設の可能性も探っていきたいと思っている。

5 協議

(1) 令和4年度山形市郷土館事業計画(案)について

※事務局より、「資料 令和4年度山形市郷土館事業計画(案)」に基づき、説明。

- 議 長 事務局の説明について、ご意見がある方はお願いします。
- 議 長 先ほど説明があった、YouTube などデジタル分野を取り入れていくということだったが、学校教育での活用についてはどうか。
- 委 員 社会科見学では、時間や人数の制限があって、生徒や児童みんなで見学することが難しい場合もあるので、YouTube で観ることができるのは大変助かる。学習センターのポータルサイトにも動画が上がっていたので、教員の間でも周知して、活用していきたい。
新収蔵品展について、期間が6月25日から7月24日までとなっている。YouTube などを観て夏休みに家族で郷土館を訪れる家庭もあると思うので、この期間を延長することは難しいのか。
- 事 務 局 企画展の開催時期について、小中学生の夏休みという視点が抜けていた。7月24日までとしているが、延長することは可能なので、その方向で対応したい。
- 議 長 数年ぶりに花笠まつりも街なかで開催するということで、今年の観光客の見通し、反応などはどうか。
- 委 員 今年の花笠まつり期間中は、観光ボランティアガイドとして駅に3日間常駐してチラシの配布を予定している。観光客には、霞城公園を紹介する際に、郷土館についても「貴重な医学資料を展示していて建物も素晴らしいので、見学してびっくりすることはないですよ」と案内している。お客様の反応も「とても良いものを観てきました」と何度も言われていて、観光ボランティアガイドとしてとても嬉しく感じている。また、医学部に通っている身内やその周辺の学生の間でも、郷土館は評価が高いと聞いた。観光施設としても良い評判を得ている。霞城公園内の樹木も手入れされていて、郷土館も春夏秋冬、景色も良いので自慢できる山形の宝物の建物だと思っている。
- 委 員 雪で毀損した瓦のことについて、もう少し詳しく説明してほしい。これまで瓦が破損した事はなかったのか。
- 事 務 局 瓦が割れることはこれまでもあったが、十数枚の瓦がまとめて破損することは自分が記憶している限り初めて。例年になく大雪で十数枚がまとめて破損したこともあり、文化庁に毀損届などを提出し、指導を受けながら修理ということになった。

- 委員 割れたのは屋根の内側か、外側か？
- 事務局 内側である。廻廊の構造上内側の軒先に雪の重みがかかる。外側に被害はなかったが、内側に被害が集中している状況である。
- 委員 毀損するのは良くないことなので、流れ止めをするなど、予防的対策を取るべきではないか。
- 事務局 日常的な管理で一番効果的なのが、雪庇を取り除くことである。現在使用しているのが職員の自作の雪べらで、重かったり、切れ味が悪かったりするので、予算を確保した上で、市販の軽くて切れ味の鋭いものを手配して、雪庇ができないようにしていきたい。
- 委員 郷土館は冬季に閉館にしないので、冬仕様の雪とめなども考えてみてはどうか。
- 事務局 改めて情報提供などをお願いしたい。文化庁などへの相談も必要になってくるのではないかと思うので、相談しながら対策していく。
- 委員 デジタルアーカイブ作成について、補足したい。文化庁のリノベートミュージアムという補助事業に、山形大学附属博物館が中核となって、山形アーカイブ実行委員会というものを組織して、補助金を申請中である。9月に採択の結果が分かる見通し。山形大学附属博物館だけではなく、山形市郷土館、最上義光歴史館なども参加して頂いている。
- 山形市郷土館に関しては、普段入ることが出来ない3階・4階部分をVRのようなものが作れないかと考えている。山形大学にVRサークルがあるので、そちらの学生達と一緒に作って、観光やPRに役立てていけるようにすることを実施しようと考えている。
- 事業期間は単年度で、来年の3月末に終了予定。採択されれば、事業終了までに何かしらの成果を出していきたい。その際、観光もだが、学校教育とも何らかの形で連携できる、学校の授業でも使えるようなコンテンツも作れば良いと考えている。最上義光歴史館がボランティアガイドと出前授業など色々な活動をされているようなので、そちらと協力して何かしらのコンテンツ作成を行いたいと考えている。
- 委員 自分が撮影に協力した、山形市郷土館や山形城などを取り上げたテレビ番組が7月20日に放送される。Tverというインターネット配信で、全国からも見る事ができるそうなので、PRにご協力いただきたい。
- 委員 資料の新収蔵品展の部分で、鈴木家文書を新たに収蔵するとのことだが、非常に良いことだと思う。郷土館としても、このような山形市の歴史資料を強調して展示公開していくと良いと思う。
- 議長 山形市としてこういった古文書を郷土館で収蔵することを続けていくのか。
- 事務局 古文書に関しては、散逸防止を目的に相談会を毎年実施している。その相談会に来た方で、後継ぎがない、引っ越しの際に古文書をどうしたらよいかわからないなど、散逸の危機にある古文書を希望があれば、市で寄贈を受けている。収蔵先として、古文書に関しては郷土資料収蔵所に収蔵する予定である。鈴木家文書に関しては、目録を作成して市で管理していく。

議 長 これらの古文書は一般の人も見ることが出来るのか。

事 務 局 文化振興課または郷土資料収蔵所にご連絡いただければ、日時を調整して見る事はできる。

6 その他

議 長 これまでの報告・協議の他に議題等がある方はお願いしたい。無いようであれば、以上をもって議事を終了させていただく。

7 閉会